

ベトナムのスポンサーシップ No2

今回は、フォーチャウ小学校に通う小学校3年生の Nguyen Thi Kieu Phuong ちゃんをご紹介します。フォーチャウ小学校はラオスよりのホーチミンルート沿いにあり、とても小さな学校です。街の住民はほとんどが農民で、主に米を作り生活をしています。その中でもフォンちゃんは母子家庭で、小学校でも最も貧しい家庭の一人で兄とお母さんで生活しています。2013年は米が不作で、家庭の収入はほとんどありませんでした。毎日の食事は、家の畑で収穫したお米とつる紫の入ったスープ、そして野菜を調理したおかずと漬物がほとんどです。肉や魚は月に数回しか食べられない高級品ですが、隣に住んでいるおじいちゃんからたまに食材を分けて貰うそうです。



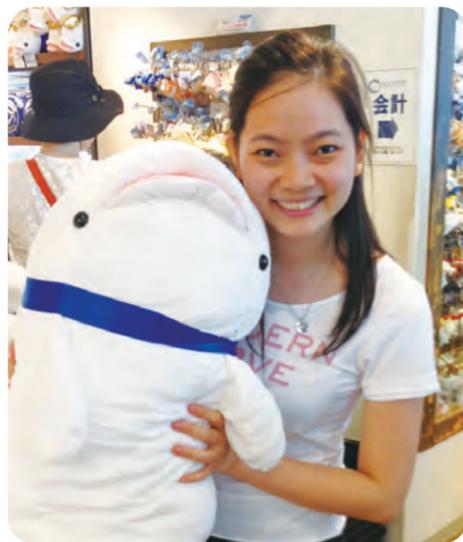
フォンちゃんのお母さんとお兄さん（自宅にて）

今一番欲しい物は自転車です。でも、学校に通うために必要な鉛筆やノートなどの費用も足りないので困っています。今回のインタビューのお礼に鉛筆とノートを寄贈しましたがとても喜んで貰ったのが印象に残りました。フォンちゃんの夢は医者になることです。是非フォンちゃんの夢を JIFA と支援者の方の力で叶えるお手伝いをしましょう。

JIFA ではベトナムの子どもたちのスポンサーを募集しております。月々 500 円の支援金で、一人の子どもが学校へ行くための費用を賄えます。詳しくはメール又はお電話でお問い合わせください。

新しいベトナムからの仲間

JIFA に新しい仲間が増えました。ベトナム人留学生のレチクイフォンさんです。主にベトナムの学校への連絡や翻訳などを担当しております。今まではベトナムのボランティアの方たちに任せていた連絡等を JIFA 独自で行えるようになりこれからの活動の幅が広がることを期待されます。



初めまして。ベトナムから参りましたレチクイフォンです。ハノイ大学の日本語学部を卒業し3年間くらいベトナムで日本関係の仕事をしていました。日本に留学したいから、来日しました。今年の4月に横浜国立大学大学院の研究生になります。社会活動・ボランティア活動に興味があったので、2013年12月にJIFAでアルバイトを始めました。JIFAのベトナムでの支援活動に魅力を感じており、ベトナムと日本とのかけ橋になりたいと思っています。今度とも、よろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人
日本国際親善協会
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-26-6 新宿加藤ビル7F
TEL 03-3352-3918 FAX 03-3352-3962
E-Mail info@jifa.org HomePage http://jifa.org/

JIFA では新しく寄付会員制度を設けました。1円でも100円でも子供でも学生でも皆さまの暖かいご支援をお待ちしております。御支援はこちらまで
新宿花園郵便局 記号 10150 番号 98253761
三井住友銀行 新宿通支店 普通 7274362
口座名義 特定非営利活動法人 日本国際親善協会

JIFA NEWS

特定非営利活動法人
日本国際親善協会

JAPAN INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION

2014/3/14 発行

2014年春号 [No.22]

子どもたちに安心して飲める水と教育を！ 総会開催 ～国際親善、ベトナム支援推進、認定NPOをめざす 2014年度事業計画を承認～

1月24日、東京・新宿においてNPO法人日本国際親善協会の総会が開催され、環境保全を図る活動や寄付会員の開設などを盛り込んだ定款の改定が採択され、2014年度の事業計画及び活動予算が承認されました。

26年度事業計画には、ベトナムハーティン省タッチトリュ校の浄水装置（9号機）設置、学資支援の推進、各種文化交流会（料理・文化、スポーツ、音楽）の実施、ベトナムフェア等での国際交流、支援国物品の販売事業などが盛り込まれました。また、こうした活動を一層発展させていくために、定款を改定し、寄付会員を新たに設け、一般の方からの寄付を受けやすくするとともに、寄付金控除や税制上の優遇措置が受けられる認定NPOを目指し、26年度中に仮認定の取得をめざす活動方針が提案され、承認されました。また、監事の辞任が承認され、新理事が選任されました。

総会に先立ち開催された理事会では、情報公開規定等についても承認されました。

皆様のご支援をいただきながら、2014年度を一層の飛躍の年に、活動を進めてまいりたいと思います。どうか宜しくお願いいたします。

新理事に和田正哉氏が就任

総会では、和田正哉氏が理事に選任、椎葉和久監事の辞任が承認されました。和田正哉新理事は、株式会社開成プランニングの代表取締役、日本プレジデント協会の顧問及び福島県人会の役員としてご活躍されており、今後の高齢化社会についての途上国への指導や、様々な企業とのパイプ役並びに東日本大震災の復興支援対策としての貢献が期待されます。

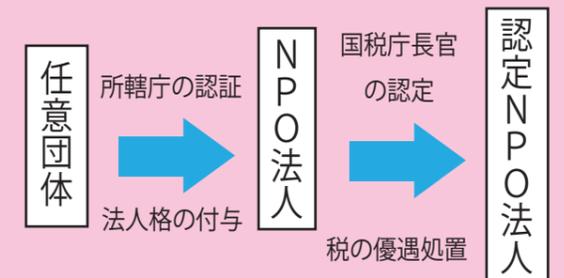
認定NPO法人とは

「認定NPO法人」とは、NPO法人のうち「一定の要件を満たしている」と国税庁長官が認めた法人のことです。内閣府や都道府県に「認証」されたNPO法人が国税庁に「要件を満たしている」ことを【認定】されることによって認定NPO法人へとステップアップします。NPO法人が、比較的形式的に「公益性のある団体であるか」を判断して認証されているのに対し、認定NPO法人はより高い税制優遇を適用するために「より客観的な基準において、高い公益性をもっている」ことを判定された法人であるということです。認定NPO法人へのステップとして仮認定NPO法人制度も2012年に施行されました。仮認定NPO法人制度は認定NPO法人に認定されるための要件が緩和されたものですが、本認定と比べいくつかの制限があります。

個人が（認定・仮認定）NPO法人に寄付した場合
→「寄付金控除を受けられます」

法人が認定（認定・仮認定）NPO法人に寄付した場合
→損金に算入できる金額が拡大されます

相続人が認定NPO法人に相続財産を寄付した場合
→寄付した相続財産は相続税が非課税になります



*仮認定では相続財産を寄付しても相続税は非課税になりません。

浄水装置設置校ソンロック (Xuan Loc) からの手紙

浄水装置4号機設置校であるソンロック (Xuan Loc) からの感謝の手紙を紹介いたします。その手紙からは設置後の学校や生徒の様子の変化がうかがえます。小さな子供が重たい水を家から持って来なくてもよくなったこと、家から水を汲んできたペットボトルの投げ捨てがなくなって学校の環境も良くなったこと、水を飲んでお腹を壊すようなことはなくなったことなどたくさんの嬉しい声が聞こえてきました。



ソンロック (Xuan Loc) はハーティン (Ha Tinh) 省のカンロック (Can Loc) 郡にある村でソンロック幼稚園、小学校、中学校が同じ敷地内にあります。設置前から水道はなく生徒たちは家から煮沸した水をペットボトルに入れて学校に持ってきていました。その水がなくなると学校の井戸水を飲むしかありませんでした。JIFAがこの浄水装置4号機を設置したのは2012年4月6日でこれにより1800人の園児、生徒、先生が安全な水を飲むことができるようになりました。設置後2年経ちますが村にはまだ水道がなく生徒たちにとって一番安全でおいしい水は学校の水です。現在は学校、行政、地元企業と連携をとり管理指導にあたっています。学校では水の授業が行われ水の大切さを理解し、水や環境に対する意識が変わってきているのが生徒たちからの手紙から読み取れます。浄水装置のメンテナンスは学校、行政と地元企業が協力して行い問題なく長期間使えるよう大切に使用されています。



JIFA 浄水装置設置校

2010年9月15日 1号機寄贈 ロックハー郡ティンロック中学校
2011年4月8日 2号機寄贈 ホーリン市ドリユ幼稚園
2011年9月6日 3号機寄贈 キアン郡キニン小・中学校
2012年4月6日 4号機寄贈 カンロック郡ソンロック幼・小・中学校
2012年9月5日 5号機寄贈 カムスエン郡カムロック幼・小・中学校
2012年9月6日 6号機 ギスアン郡スアンミ幼・小・中学校
2013年9月21日 7号機寄贈 デュクトー郡デュクタイン幼・小・中学校
2013年9月23日 8号機寄贈 日越国交40周年事業 ビエンホア市グエンチータイン小学校

親愛なる支援者 OGURA NORIKO様へ

私の名前はグエン・ティ・アインでスアンロック中学校8Aの生徒です。初めに、スアンロック中学校の全校生徒を代表して支援者であるOGURA NORIKO様へ浄水装置寄贈についてお礼の言葉を述べさせていただきます。以前、まだ浄水装置が無かったころ、皆は家から水をペットボトルに詰めて持ってきて、飲み終わったボトルをあちこちに捨てて、環境汚染が進んでいました。また、水を飲んでお腹を壊す生徒もいました。でも、浄水装置が設置されてからは、綺麗な水が飲めるようになって本当に嬉しいですし、各生徒が清潔を保つことを学び、健康状態も良くなり学習も進歩しました。これは、まさしく心優しい支援者様が浄水装置を支援して頂いたおかげです。本当にありがとうございます。最後に支援者様のご健康とご成功をお祈り致します。本当にありがとうございました。



グエン ティ アインさん 14歳



チャン デイン ニヤットくん 14歳

親愛なる支援者 NONAKA JUICHIRO様

私の名前はチャン デイン ニヤットでスアンロック中学校の生徒です。今日は、支援者様へ浄水装置寄贈についてお礼の言葉を述べさせていただきます。現在世界では、清潔な水が不足しており、水源の汚染も日に日に進んでいます。低学年の生徒が、夏の暑い日に水を毎日家から持ってこなければならぬのは本当に大変です。飲み終わったボトルを決められた場所に捨てないので、周りの環境も悪化して行くばかりでした。一部の学生は、水を家から持って来ず、外の水を飲んでお腹を壊していました。浄水装置が来てから、毎日清潔な水が飲めるばかりでなく、もう家から毎日水を持ってこなくて良くなりました。腹痛を起こす生徒は減り、ゴミを捨てる人もなくなりましたので、環境の悪化も止める事が出来ました。これは物質的な改善ですが、精神的にはどうでしょうか。各教員も元気になり良くなりましたし、私達の勉強のスピードもアップしました。父兄が心配している問題は解決されました。人間の体内の75%は水分でできています。浄水装置はとても大切なものです。心優しい支援者様、私達と同じように他地域の生徒のこともどうか救って頂けますようお願い致します。最後にもう一度、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

